

## 今日のトピック 豪州の2015年度連邦政府予算案 財政健全化路線を維持しながら成長重視へ

### ポイント1 経済成長を重視

#### 中小企業支援やインフラ整備を推進

- 豪州政府は12日、2015年度(2015年7月～2016年6月)の連邦政府予算案を発表しました。政府の支持率低迷の一因だった緊縮財政から経済成長重視へと舵を切る内容です。野党の反発にも配慮し、国民生活重視の施策も盛り込むことで、早期成立を目指す構えです。
- 景気対策として、中小企業の法人税率引き下げや鉄道・道路・空港などインフラ整備向け支出拡大などが盛り込まれました。財政健全化路線を維持しながら、景気にも配慮した柔軟性のある予算案と評価する見方もあります。

【2015年度予算案の主なポイント】

GDP成長率の前提	前年度比+2.75% (2014年度見込み同+2.5%)
財政収支の赤字	GDP比2.0%へ低下 (2014年度見込み同2.5%)
歳出規模と増加率	歳出総額は4,345億豪ドル (前年度比+3.4%)
歳入規模と増加率	歳入総額は4,054億豪ドル (前年度比+5.5%)
主な個別策	中小企業の法人税率引き下げ インフラ整備向け支出拡大

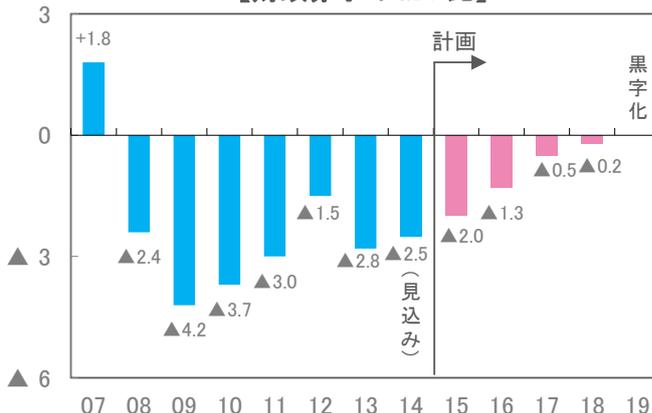
(出所) 豪州政府の発表資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 財政健全化路線は維持

#### 成長率の前提は緩やかな加速

- 予算案全体としては、歳出が前年度比+3.4%、歳入が同+5.5%とされました。財政収支の赤字はGDP比2.0%に低下(2014年度見込みは同2.5%)する計画です。
- 財政赤字は、資源価格の下落や賃金上昇率の伸び悩みにより税収が下振れる見込みの一方、富裕層への年金支給額削減などにより財源が手当てされ、GDP比が低下するとされました。
- 2015年度の経済成長率の前提は+2.75%と、前年度から緩やかに加速する見込みです。

【財政赤字のGDP比】



(注) 年度は当年7月から翌年6月。  
(出所) 豪州政府の発表資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 財政健全化路線の維持は、豪ドルと豪州国債の中長期的なプラス要因

- 政府は中小企業向け支援策やインフラ整備に向けた施策の強化により、鉱業に依存しない幅広い分野での成長を目指しています。政府の成長見通しはやや楽観的との見方が多いものの、緩和的な金融環境の中、景気は内需主導で緩やかに回復すると見られます。
- 豪ドルは、豪州準備銀行の利下げに打ち止め感が出ていることに加え、予算案の発表により景況感の改善が見込まれることなどから、底堅い推移が期待されます。
- 景気が政府見通しを下回る場合には、税収不足を補う国債増発が見込まれ、国債利回りの上昇要因となる可能性もあります。ただし、債務格付けの高さや、中長期的に財政健全性が維持される見込みは、国債利回りの安定に貢献しそうです。

#### ここも チェック!

2015年05月07日 豪中銀は利下げ実施、利下げ打ち止め感から豪ドルは上昇  
2015年04月22日 最近の指標から見る豪州経済(2015年4月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。